

【公開文書】

臨床研究「食道疾患に対する外科的治療の有効性と安全性を評価する観察研究」について

筑波大学附属病院消化器外科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

食道癌をはじめとする食道悪性腫瘍に対する外科的治療は近年目覚ましい発展を遂げています。従来行われていた開胸手術に代わり胸腔鏡や縦隔鏡などの低侵襲手術が普及し、当科でも縦隔鏡手術を導入しています。またこれまで外科的治療の適応ではなかった症例でも、化学療法や放射線療法の発展に伴い手術が可能となる例も見られるようになり、外科的治療の重要性は増しています。また食道良性疾患においても誤飲物による食道穿孔、食道裂孔ヘルニアなど外科的治療を要する機会は少なくなく、それらに対する術式も多様化しています。このように食道疾患に対する外科的治療は時代ごとに適応、アプローチ法、手術法、術後管理などが大きく変化・多様化しており、現在の位置付けを見極めることは重要であり今後の発展に必須と言えます。本研究は当科で行われてきた食道疾患に対する外科的治療の治療成績の推移を解析することにより現治療の有効性と安全性を評価し、さらなる成績向上に向けた課題を明らかとすることを目的としております。

② 研究対象者

2003年1月から2025年12月までの間に、筑波大学消化器外科において食道疾患に対し外科的治療を受けた、または予定されている患者さま

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年12月31日まで

④ 研究の方法

過去の診療録に保存されている、あるいは今後診療録に記載される個々の症例データを集積し、診療の一環として施行された血液検査、機能検査、内視鏡検査、画像検査、病理組織学的検査の各データおよび診療記録に記載されている情報を抽出します。術後合併症発生率をはじめ、手術時間、出血量、術後在院日数、再入院率などの短期的成績および全生存期間、無再発生存期間などの長期的成績を検討し、外科的治療の有効性および安全性を評価します。

⑤ 保有する個人情報および開示手続き

得られた結果は学会発表や論文発表で使っていただく場合もございますが、個々の患者様が特定できるような個人情報は一切省き、データは匿名化して使用します。個々の情報をご本人に開示する事は積極的には行いません。ご希望の場合は下記までご連絡下さい。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

研究責任者：小田竜也 所属：筑波大学医学医療系 消化器外科 教授

⑦ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑧ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：消化器外科 小川光一

電話：029-853-3221（内線 98419） FAX:029-853-3222 平日 9～17 時